

令和6年度公立高校入学者選抜（全県試行）に関するQ&A（中学校）

- Q1 全県試行までに、生徒に個人メールアドレスを準備させる必要はあるか。
A1 全県試行までに個人メールアドレスを取得する必要はある。
Q2 全県試行では、期間内であれば、繰り返し出願手続きを試すことができるか。
A2 全県試行では、出願手続きを一回だけ通して行う。
Q3 全県試行の対象者は、誰か。
A3 対象者は、3年生であれば、公立高校への出願希望者全員行う。

【その他】

- ・本番と志望校が変わってもよい。今回の試行は、高校側には一切のデータはいかないようにしてあるため、現段階の志望校でよい。
- ・検定料については、お金を実際に振り込むことはしない。あくまで試行である。仮にコンビニで振り込もうとしても、システムでブロックされる。
- ・受検票のダウンロードは、家庭でできる。可否のダウンロードはしない。
- ・中学生や保護者には、手順書を見ないでもできるようにしていく予定である。
- ・本番同様、コールセンターを開設する予定である。
- ・今回の試行で登録した内容は、本番には生かされない。試行後にすべてリセットされる。
- ・基本的に、本人がメールをいつでも見られるようにしていく。また、キャリアメールについては、年度途中で契約を変更してしまうと見られなくなってしまうため、極力メール変更しない。
- ・現段階で区域外の高校受検を考えている場合、登録を進めていくと区域外の申請書の添付に行きつく。それがないとそれ以上先に進めなくなる。その場合は、紙に手書きで「申請書」と書いたものを写真に撮ってアップさせればよい。公的な書類を取り寄せない。
- ・原則、日本語対応のみである。
- ・推薦選抜で不合格になった生徒は、再度一般選抜で登録することになる。

令和6年度公立高校入学者選抜に関するQ&A（中学校）**【出願について】**

- Q1 受検生はユーザIDやパスワードを選抜ごとに登録するか。
A1 受検生が最初に出願する選抜でユーザIDやパスワードを登録すると、年度内は再度登録する必要はない。
Q2 出願情報はいつから登録できるか。
A2 各選抜の出願期間内に登録する。ただし、既に出願している選抜がある場合、受検辞退する又は不合格になるまで新たに出願情報の登録はできない。

【ユーザID・メールアドレスについて】

- Q3 ユーザIDは、他の受検生と同じIDでも登録できるか。
A3 Web出願システムに既に登録されているユーザIDと重複するユーザIDは登録できない。メールアドレスについても、同一のメールアドレスを重複して登録できない。
Q4 受検生が登録したメールアドレスに、Web出願システムからの連絡以外で、高校から学力検査当日の案内などの連絡メールは届くか。
A4 登録したメールアドレスには、Web出願システムからワンタイムパスワードや承認、受付等の完了をお知らせするメールのみが届くため、高校から連絡メールは届かない。

【その他】

- Q5 入学検定料は、どの決済方法でも手数料は発生しないか。
A5 手数料は発生しない。